

～下畑地区～

まちづくり講演会

過疎地は日本の最先端！

～高齢化率なんて気にしない～

合同会社 人・まち・住まい研究所
講師：浅見雅之氏

◇プロフィール
埼玉県生まれ、北海道大学出身
一級建築士/地域コーディネーター
兵庫県地域再生アドバイザー
神戸市まちづくり専門家

日時：令和6年
2月24日
(土)

◇受付 13:00 ◇場 所：下畑交流館
◇開演 13:30 ◇参加料：無 料
◇終了 16:00 ◇定 員：先着100名

申込み
問合せ 美和総合支所地域振興課
電話：96-1111 FAX: 96-0415
メール：chiiki-ws@city.iwakuni.lg.jp
2月16日(金)までに上記にお申込みください
FAXでの申し込みの場合は、裏面の申し込み用紙をご利用ください

主催：下畑地区ふるさとづくり推進協議会・岩国市（美和総合支所地域振興課）
共催：美和地域自治会連合会・美和町ふるさとづくり推進協議会



みんなが参加して質問に回答する様子

2月24日、下畑交流館で「過疎地は日本の最先端！～高齢化率なんて気にしない～」と題した「まちづくり講演会」を開催しました。

これは、下畑地区ふるさとづくり推進協議会の渋谷会長から、下畑地区で活発に行っている地域活動を今後も継続していくにはどうすれば良いかとの相談があり、それなら実績のある講師をお呼びして地域づくりのヒントとなるような講演会をしてみようと集落支援事業として企画したものです。

講師に、合同会社 人・まち・住まい研究所の浅見雅之氏を迎え、人口減少や高齢化に負けない地域づくりについて講演していただきました。

自治会長やふるさとづくり会長等101名の参加があり、皆さん時折メモを取りながら熱心に耳を傾けていました。地域づくりは、本来クリエイティブで楽しいことのはず、逆転の発想で地域の価値を高める等、私も集落支援員として「言われてみれば！なるほど！」と気づかされることの多い講演会でした。これからも、この講演会での気づきを地域の支援に活かしていきたいです。

～長谷地区より～



紙すきの様子



2月3日、長谷交流館にて3年生による紙漉きが行われました。この日を迎えるまで、在校生が各工程を地域の方々と一緒に取り組み、今年度もよい原料ができあがりました。

始めに長谷みどりの会が手順について説明を行い、作業がスタートしました。生徒は緊張した面持ちで水で溶いた原料の中に木枠を入れ、約3回程度すくいあげました。回数を重ねると難しくなりますが、長谷みどりの会指導の下、紙をすきました。

体験後、生徒の1人は、「美和町でしか経験できないこと。今までの工程の中で一番難しかったけど、達成感がありました。」と話してくれました。

自分で漉いた和紙は、3月8日の卒業証書授与式にて生徒一人一人に授与されます。

和紙づくり事業は今年で9年目を迎えました。毎年、たくさんの方にご協力頂き活動が継続されています。

